

# かがやき

令和5年 2月 8日(水)  
多摩市立連光寺小学校  
特別支援教室 かがやき学級  
学級通信 NO. 15

## ようこそ先輩・聞いてみよう中学校のこと

1月25日(水)~27日(金)に聖ヶ丘中学校より3名の生徒が職場体験にきていました。3人とも連光寺小学校の卒業生とのことで体験の合間に高学年に中学校の話をしてもらう時間を設定しました。小集団指導の中においても中学校に向けた見通しづくりの授業はしていますが、やはり「生の声」は貴重なので短い時間ではありましたが、先輩の声を聞ける機会となりました。「テストが学期ごとの終わりにあるから勉強の範囲が広いよ。」「とにかく時間がない。忙しいよ。」「いまのうちに遊んでおいたほうがいいかも。」「先生は怖くありません。いろいろな先生がいるよ。」主に学校生活や勉強、部活について「今」の声を聞くことができました。漠然とした不安を抱える子もいる中、見通しをもっていくための時間となりました。



## 子供ながらにいろいろ考える「自分」

2月3日(金)は節分で連光寺小学校に赤鬼と青鬼が指導のため給食時間に巡回しました。低学年から高学年に向け、だんだんと子供たちの反応が冷めていく状況ではありましたが、「ともだちと仲良くしてるかあ〜」「早起きしてるかあ〜」の鬼の指導の声に「きゃあ〜」「正体は〇〇先生だろ!わかってるよー!」と楽しみながら節分の行事を学ぶことができました。

かがやきでの小集団指導の中では「自分の中のおに」という、いわゆる抽象的なお題でスピーチをしました。少し難しいかなあとも思いましたが、一言スピーチの中で共有すると、子供たちの反応は様々でした。お題を出した側としては「なまけおに!」「あさねぼうおに!」をねらっていくわけですが、それぞれにいろいろ今の自分を考えているんだなあという答えがあったのでいくつか紹介していきたいと思います。

・低学年「ぜんぶ!わるい鬼ぜんぶ!」「イライラ鬼!」「自分の中の黒い鬼」・・・お題としては難しい部分もあるかと思いましたが、友達「鬼」と思う具体的な話(イライラ=怒り)を共有すると「ぼくも!同じ」と共感する意見が出てきました。自分の中の「あるある」に触れる体験にもなっていました。

・中学年「頭の中がぐちゃぐちゃ鬼」「めんどくさい鬼」「泣き虫鬼」・・・自分の苦手やマイナスなど少しずつ具体的な表出になってきました。特に、「頭の中がぐちゃぐちゃ鬼」は高学年に話を共有していくと「それは頭の中の引き出しが整理されていない状態だね」という意見に結び付いていました。

・高学年「むかつく・イライラ」「怒る鬼」「ずるずる引き延ばしてしまう鬼」・・・高学年として日々のストレスもあるのかなあという感じです。ただ、学校場面でのことは自分なりにコントロールしようとしている部分もあるような発言もありました。理想や「こうしたい」という気持ちは一様にして感じていることがわかりますね。高学年の授業場面ではこうした「考え」や「気持ち」について共有していく中で「共感」や「同意」する意見が友達からも出て話が盛り上がることもあります。また、実は「いろいろ考えている」というものをお互いにつなげていく中で整理されてくる気持ちもあると感じます。こうした機会を大事に育てていきたいと思いました。「鬼は外!「福は内!」それぞれの思いでした。

## お知らせ

- ・第3期個別指導計画を配布させていただきます。確認していただき、変更点がありましたら、かがやきまでご返送ください。
- ・3月17日(金)にかがやき保護者会を予定しております。出席の可否をWEB上でご回答ください。